地域情報誌

和合

No.133
2020. 3. 1

題字：三浦修次

主な掲載記事

和合探訪 ……2
はやぐおっきぐなれの～！ …3
よつばっこ通信 ……4
わたしが描く和合の里 ……5
わたしから見た和合の里 …5
人生100年時代 ……6
わごう駐在所 ……6
もっしぇけの！まだ、かだっでの～！…7
和合の里INFORMATION……10

和合探訪

－和合のルーツ ここにあり！－

赤渕新田編

◆参考資料

『余目町史』 余目町 発行

『赤渕新田部落史』 赤渕新田部落会 発行

『大和郷土史』 大和地区地域づくり 推進会議 発行

『余目町の民俗 ムラの信仰と行事』 余目町教育 委員会 発行

村のはじまり

伝えによると、赤渕新田の祖先は、初め南野村の西方（俗に元赤渕という）に住んでいました。当時、最上川は現在の沢新田の北から、連枝と赤渕新田の西を通り、南野にかけて南下し、国道47号線沿いに廻館と堤新田の間をU字形に流れていました。そして、一本松（舟つなぎの松）付近は深い淵で赤い土質でした。そのため赤渕と呼ぶようになったといいます。その後、川の流れを直線に改良したので、赤渕のあたりは一面原野と化し、明暦元年（1655年）藤原村が開発され、そこへ元赤渕の人々が移住し、赤渕新田を開きました。また、村の草分けは、渋谷弥次右衛門と伝えられています。

◆村高

村高は正徳２年（1712年）の記録によると12石６斗６升７合（約1,900Kg）でしたが、その後、慶応３年（1867年）７月の記録で最も収量が多く 56 石３斗７升１合（8,455Kg ）となっています。

きうり祭りと枝豆（まめ）名月

起源と理由は定かでありませんが、７月14日「牛頭天王祭」通称「ゴシテンノウサイ」（本来は「ゴズテンノウサイ」と読むのが転訛したものと思われます。）と称し、別名「きうりまつり」とも言われる行事が継承されています。目的は牛頭天王信仰から「疱瘡（天然痘）除け」であるとわかりますが、医学の発達した今日、そのことを知る人は少ないです。

７月14日に主婦たちが自ら育てた自慢の「きうり」と肴１品持ち寄って神社拝殿に集まり、産土（うぶすな）大神様に三方に積み上げた「きうり」を献上し、拝礼の後お互いに持ち寄ったご馳走を開き、味や作り方の自慢話を始め、部落から供された御神酒を酌み交わし四方山話に花を咲かせ、厳しい農作業から一瞬でも開放感を味わったものでしょうか。終わって解散する時は、献上した「きうり」を産土様より下げ、集まった人たちで分け合い「御守（おごふ）」としてそれぞれの家に持ち帰り、生でまたは食卓にて食し、健康を念じました。

また、９月15日は夜籠行事（枝豆（まめ）名月）が行われます。これも主婦たちが枝豆を持参し、産土様に集まり夜遅くまで拝殿にこもり、これまた四方山話に花を咲かせています。戦前には子どもたちも夏祭りのない部落だったためか、当日朝から土俵などを作り、夜は相撲など楽しみました。

著名人 PICK UP!!

新堀村の門田に生まれ、小学校卒業後に農業に従事し、後に赤渕新田の荒木家を継ぎます。地域の農業、農政に積極的に取り組み、昭和22年４月に大和村農業会長に選ばれました。昭和26年には大和村議会議員に、同村の工藤新六とともに当選しました。また、大和小学校、余目高等学校のＰＴＡ会長に推され、学校教育、ＰＴＡ活動の発展にも尽力しました。さらに昭和30年からは、大和地区遺族会長を務めました。

他に、終戦間もない頃、沢新田地内の水田から13世紀頃の経塚の壺を発見したことでも有名です。

荒木 七郎右衛門

（明治 30 年 11 月 5 日 ～昭和 47 年 3 月 8 日）

パパとママにインタビュー

はやぐおっきぐなれの～！

上林 蒼依（あおい）ちゃん

（大真木）

令和元年８月８日生まれ

パパ：大希（だいき）　ママ：園子（そのこ）

1 生まれた日の蒼天のように晴れやかに、のびやかに健やかに育ってほしいと願いをこめて。

2 寝返りができるようになってから、横にするとすかさず寝返りをします。きりんのおもちゃやボールにも興味を持ちはじめました。

3 まだ「あー」「うー」としか言えないのに、時々庄内弁に聞こえる時があり、びっくり！面白かった。

4 男の子なので、おむつ替えやお風呂あがりによくおしっこをかけられて、毎回ひやひやしていました。

5 これからいろんな所に一緒に行って楽しい思い出たくさんつくろうね！

加藤 美織（みおり）ちゃん

（連枝）

平成 31 年３月 30 日生まれ

パパ：拓也（たくや）　ママ：裕美（ひろみ）

1 ママと３歳年上の姉と同じ「美」の字を使い、響きや字面がかわいらしくて、繊細な印象を受けた美織という名前に決めました。

2 最近ずりばいができるようになったので、今までは見ているだけで届かなかった物に移動して触れられるようになったのが嬉しそうです。

3 1歳半年上のお兄ちゃんが元気良すぎて、美織が怖がって泣くようになりました（笑）

4 美織ちゃんが全く手のかからないスーパー良い子ちゃんすぎるため、0歳児だということを忘れてしまいがち…。

5 お姉ちゃん、お兄ちゃんと一緒に色々な所に行って、みんなでたくさん遊ぼうね。お兄ちゃんに負けるな!!

Q1 名前の由来は？　Q2 今一番の興味やはまってることは？　Q3 最近記憶に残ったエピソードは？
Q4 パパママの失敗談（子育てあるある）　Q5 パパママからのメッセージ

余目第四幼稚園

よつばっこ通信

よつばっこ！かず君の運動教室！

広報などで、ご存じの方もいらっしゃると思いますが、庄内町地域おこし協力隊の進藤和真さんが、幼稚園に月一回ほど来園し、子ども達に体を動かす楽しさを教えてくれています。

鉄棒の逆上がりが上手にできるコツ（逆上がりは、頭をぐっと後ろに下げるといい）、縄跳びを飛べるようになるコツ（縄跳びは、はじめは、ぴょんぴょん、手拍子しながら飛ぶのが効果的）また、ドッチボール等でのボールの投げ方…等々、わかりやすく教えてくれます。

また、いろいろな鬼ごっこや、競争のゲームも歓声を上げながら喜んで、走り回っています。『足を上にぐいって上げたら、逆上がりできそう！』『かず君！一緒にドッチボールしよー！』と、子ども達からも大人気です。ちょっとしたきっかけで、出来るようになり、自信をつけた子もいるんですよ。

せんせいあのね

ある月曜日の朝…
元気に登園してきたAくん
「せんせいーー！昨日映画館に行って、“**あなた**と雪の女王見てきたよーーー！」（笑）

余目第四小学校６年生　わたしが描く和合の里

工藤 瑛大（あきひろ）【古関】

ぼくが描く「和合の里」は、いじめや犯罪のない地域にすることです。理由は、もしそんな地域だったら、ぼくは住みたくないからです。また、学校でウサギを飼っているので、動物を大切にする地域になってほしいです。だから、ぼくは動植物を大切にして地球環境を守っていきたいです。

三浦 未陽（みなみ）【福島】

私は、美しくきれいな和合の里になってほしいです。和合地区は緑がいっぱいで自然豊かな地域です。和合地区の地域の人の優しさなどがいっしょうなくならないようになってほしいです。私も和合地区がごみなどできたなくならないように、いろいろなボランティア活動にも参加していきたいです。

奥山 奏葉（かなは）【古関】

私は、今までの平和な和合の里が十年後や二十年後も続いていれば良いなと思っています。今の和合の里は、子どもたちが少なくて大変ですが、とても良い学区で、住みやすいし、地域の人も優しいので大好きです。この和合の里に住んでいる人が、みんな幸せになるような和合の里を目指していきたいです。」

五十嵐 奏（かなで）【南野新田】

私は、和合の里にはたくさんお世話になっています。理由は友達と遊ぶ時にたくさん使わせてもらっているからです。私は和合の里に生まれてよかったと思います。私が大人になっても和合の里を子どもたちに残したいです。大人になっても和合の里を大切にしたいです。

樋渡 千里（せんり）【堤新田】

私は、四小地区をいじめがなく笑顔あふれる地区にしたいです。お年よりやこまっている人がいたら、やさしく声をかけたいです。あいさつなどをたくさんして、お手本になる子どもたちをもっとふやしたいです。

わたしから見た和合の里

余目四小に赴任した日、ナビを頼りに学校に来ました。「主殿新田？」なんと読むのだろう？「和合？」どういう意味だろう？これまで庄内町に縁がなかった私は、わからないことだらけのスタートでした。あれから二年。皆様から教えられ、支えられて、和合の里の素晴らしさを、身をもって知ることができました。

今、「地域とともにある学校」が目指すべき姿であり、全国の学校が地域と連携すべく努力しているところです。そのようなことを考えると、和合の里は全国に誇れる素晴らしい地域だと改めて感じます。

学校をしっかりと支えてくださる和合の里を創る会、公民館、地域の方々。子どもたちのために登下校の安全を見守ってくださる見守り隊。すてきな読み聞かせをしてくださる福本袋（ふくふくろ）。楽しい図書館環境を整えてくださる図書ボラフェアリーズ。子どもたちの自主性を大切にして見守ってくださる放課後子ども教室。米づくりや野菜づくりの苦労や喜びを教えてくださる地域の先生。学校の教育活動に協力してくださる保護者の皆様。

まさに余目四小は、これまでもこれからも「和合の里とともにある学校」だと思います。時代や社会がどう変わっても、いつでも子どもたちの笑顔あふれる和合の里であることを願っています。

庄内町立余目第四小学校
教頭　大山　浩司　先生

人生100年時代

通いの場～人が集まる、笑顔がみえる～

庄内町保健福祉課　高齢者支援係 主査　渡部　恵子

町では、「身近に通える」「気軽におしゃべりができる」人と人とがつながる場として、地域の通いの場づくりを進めています。

どんなことをするの？

自由な発想で、みんながやりたいことを一緒に楽しみます！体操、レクリエーション、茶話会など。集落や老人クラブで行っている「いきいき百歳体操」「いきいきサロン」も通いの場のひとつです。

どんな効果があるの？

仲間づくり…幅広い年代の方と交流が生まれます。

居場所づくり…自分の『居場所』があると心がホッとします。

生きがいづくり…役割ができることで気持ちに張り合いができます。

支え合いのしくみ…人と人との結びつきができることで、思いやり、助け合いの思いが深まります。

通いの場は、高齢者の方々が中心ですが、誰でも参加できますし、小さい子供さんも大歓迎。子育て中のお母さんは、人生経験が豊かな高齢者の方から子育ての知恵が聞けるかもしれません。人と人との新しい出会いのある「通いの場」で地域がますます元気になれると思います。ぜひ、あなたの身近な通い場をのぞいて見てください。

≪第四学区で「いきいき百歳体操」を行っている集落≫
古関、小出新田、吉方、京島、西袋

問合せ先　高齢者支援係（余目保健センター ☎43-0490）

令和元年における第四学区の事件、事故発生状況

わごう駐在所

庄内警察署
佐藤　正人
（第四学区担当）

1 *刑法犯の犯罪発生状況*（平成31年1月1日～令和元年12月31日まで）

車、玄関の施錠を必ず行いましょう！無施錠の車、家が狙われています。

番号	発生月日	発生場所	罪名	状況
1	5月28日	古関字古館地内	暴行	検挙
2	7月20日～21日	赤渕新田字藤原台地内	窃盗（車上ねらい）	捜査中
3	7月20日～21日	小出新田字苧畑割地内	窃盗（車上ねらい）	捜査中
4	8月18日～19日	古関字古館地内	窃盗（車上ねらい）	検挙
5	8月18日～19日	古関字古館地内	窃盗（車上ねらい）	検挙
6	11月30日	古関字土手の下地内	暴行	検挙

2 *人身事故発生状況*（平成31年1月1日～令和元年12月31日まで）

通り慣れた道路を走行中、油断しての事故が多いようです。止まるべき所ではきちんと止まって、しっかり安全確認をしましょう。

番号	発生月日	発生場所	事故原因	形態	被害程度
1	1月22日	廻館字館舎地内　町道上	動静不注視	貨物×普乗	重傷
2	1月25日	廻館字下大坪地内　町道上	動静不注視	軽四×普乗	軽傷
3	3月1日	吉方字小縄地内 主要地方道庄内空港立川線上	安全不確認	軽貨×普乗	軽傷
4	3月19日	南野字前割地内　国道47号上	動静不注視	普乗×普乗	軽傷
5	4月16日	南野字前割地内　国道47号上	前方不注視	普乗×軽四	軽傷
6	10月15日	連枝字沼端地内　町道上	一時不停止	軽四×軽四	軽傷

もっしぇけの！まだ、かだっでの～！

令和元年度
事業参加者の声

■放課後子ども教室「わごうの広場」

“こんにちはーーー！「おかえりなさい」……お互いの２つのあいさつから始まる「わごうの広場」。下校後、児童たちは第四公民館の門を交わすや否や、我先と駆け足で受付に。子ども達と地域のサポーターが交わる瞬間は、実に爽やかでほほ笑ましい。

子どもたちは、自主的にカリキュラムに基づき行動開始。20分間の自習で宿題をやっつけ、あとは自由遊びです。グラウンドで、体育館で、その日の天候に応じた遊びに興じ、和室で自習の延長、ロビーで折り紙、そしてホールではボール遊びをするなど多種多様自由奔放な行動が、その日の児童たちの行動です。月２回とはいえ、大勢での行動は友情を育み、サポーターと交わったひと時がふるさとをいとおしみ思い出を創る。県外学習、ざっこしめ、ミニ門松づくりでお年寄りに配布、これらの課外活動も感動の思い出。

毎月２回、下校から５時までの２時間、子どもたちと行動を共にして早３年。「地域の人たちと子どもたちはもっと近くにあるべきだ。」こんな発想のもと、初年度、対象児童146名中44名の参加でスタートした事業。月経過とともに参加者増加で初年度末の結びの会では60名を超えました。３年目となった本年度、85名を超える大所帯となりました。その日の来るのが待ち遠しい児童の思いが広場の活動から伝わってきます。“参加して良かった、楽しかった”“今後もぜひ参加したい”の回答90％をいただきました。これからも皆様のご期待に沿えるよう頑張ってまいります。子ども達の安全を最優先にした事業として、サポーターの協力をいただきながら取り組んでまいります。

地域コーディネーター **浅井 多一** さん（沢新田）

わたしは、わごうのひろばで一番楽しかったことは、ざっこしめです。なぜかというと、大きい魚をたくさんとれたからです。小さい魚もたくさんとれました。とちゅうで長ぐつがとれなくなってたいへんだったけど、楽しいことがいっぱいおきてよかったです。

佐藤 一花（いちか）さん
（南野／2年）

私は、この「わごうの広場」に行ってみて楽しいと思います。どこが楽しいかというと、みんなと遊ぶ時です。家でいつもわごうの広場が休みの時、ふだんから勉強をしません。だけどわごうの広場では楽しく感じます。次の日がわごうの広場だった時、私は楽しみにしています。わごうの広場は『人と人のつながり』を楽しめる場所というのも感じます。これからもわごうの広場に通いたいです。

樋渡 絢音（あやね）さん
（堤新田／4年）

ぼくは、水曜日のわごうの広場に行くのを楽しみにしています。理由は、みんなとサッカーやバスケットボールをするのが楽しいからです。６年生になっても、わごうの広場でみんなとたくさん遊びたいです。

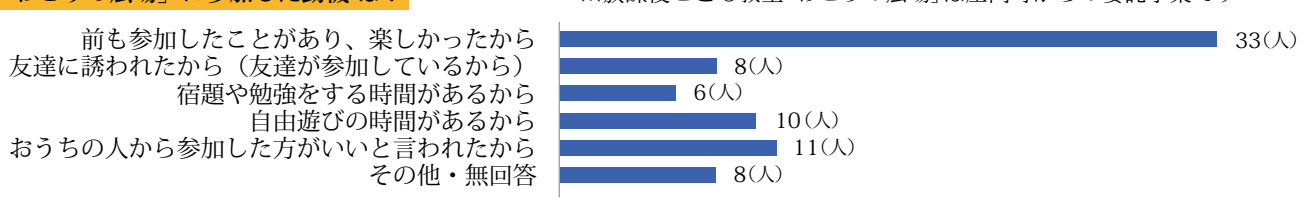
渡會 大翔（だいと）さん（吉方／5年）

わごうに行って、あいさつや、いろんなことができるようになってよかった。イベントもおもしろかったので、らい年もさんかしたい。

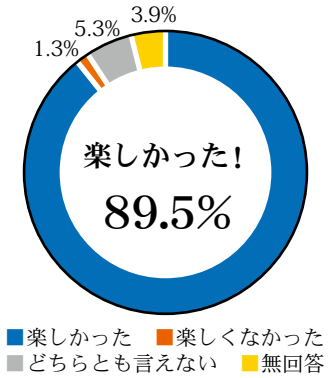
加藤 煌（きら）さん（主殿新田／4年）

◆「わごうの広場」に参加した動機 は？

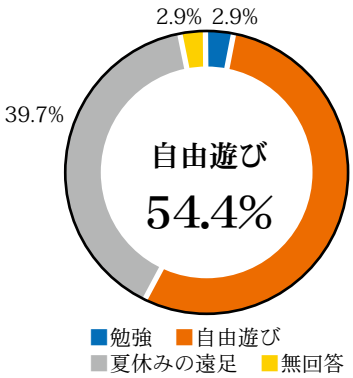
※放課後こども教室「わごうの広場」は庄内町からの委託事業です



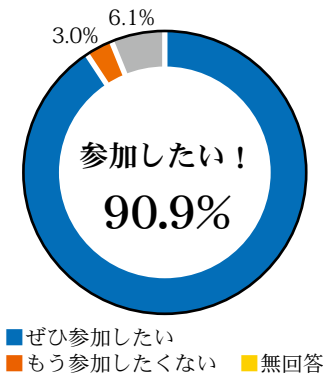
◆参加してみてどうでしたか？



◆なにが一番楽しかったですか？



◆これからも参加したいですか？



■和合大学院“悠遊塾”

平成22年６月29日、第１期生和合大学院入学式を第四公民館視聴覚室にて、18名の受講生で第１回学習会と共に開催しました。講師として庄内町狩川冷岩寺住職今野悦治氏を招き講演を行いました。演題「心の健康」～般若心経から～これが最初の学習会でした。最初は受講生も少なく、学習に行くにもマイクロバス１台がやっとで、学習会もできないような時もありましたが、現在では大型バス２台で学習に行くようになりました。

平成27年度第６期生より和合大学院「悠遊塾」と改めて心が一新しました。本年度は開校10年で節目の年のようです。小生も10年間お世話になりました。長いようで短くあっという間に10年過ぎてしまいました。主な研修会をあげてみますと、庄内空港管制塔見学、自衛隊神町駐屯地、日本海沿岸東北自動車道工事現場見学、酒田共同火力発電見学等々、個人では見ることのできない所を見学しました。まだまだ見学した所が数えきれないほどありますが、紙面の関係でほんの一部を紹介させていただきました。

卒業のない和合大学院「悠遊塾」に身体の健康なうちに多数参加して下さい。

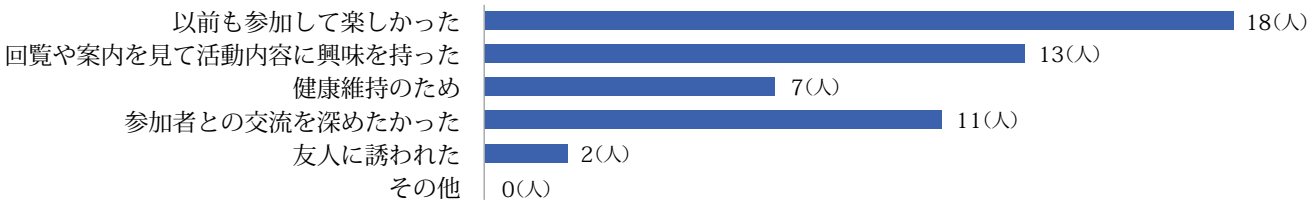
日下部 幹夫さん
（前田野目）

三輪 裕子さん（西袋）

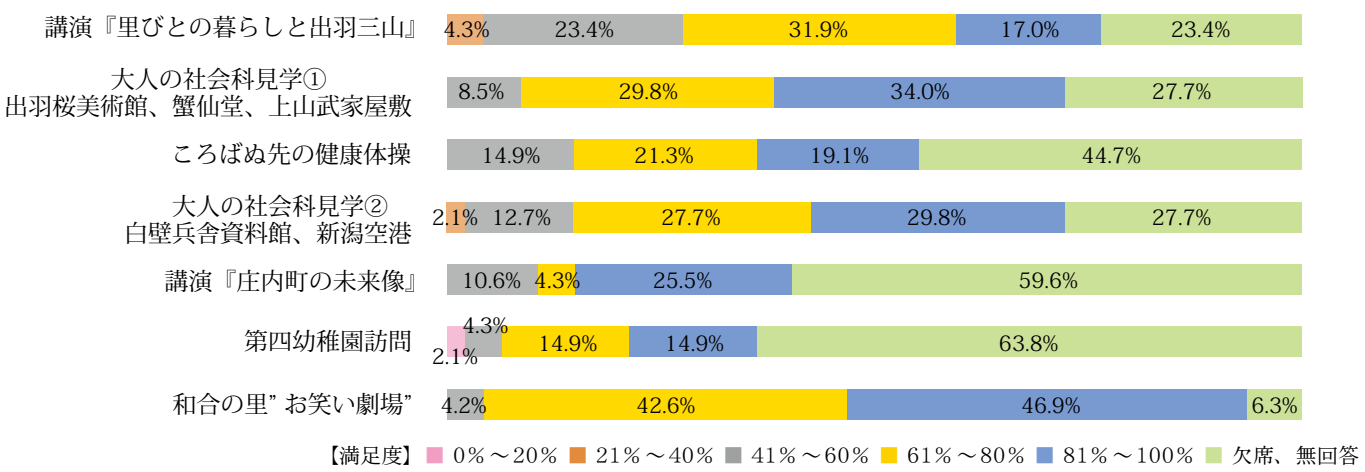
余目第四公民館における和合大学院「悠遊塾」も令和元年度にて10年。私の参加はまだ日が浅く、初め知った“楽しむこと”がモットーの活動内容ということにひかれました。

出羽三山を知るべく講演に始まり、山形、上山と出向いての社会科見学。蔵座敷、武家屋敷と昔の古き良き建造物に目を見張りホッと一息。香味庵まるはちさんにてお寿司に見立てた漬物三昧の昼食を共に１日楽しんできました。９月初秋、実りの田んぼを眺めながらの新潟行き。新発田の自衛隊「白壁兵舎広報資料館」に社会科見学。建物についての説明の後、各自館内見学、新潟救難隊の災害時の活動をパネル展示で知ることができました。大きな災害の多い昨今、「私たちは年寄りだから…。」ではなく、できることを考える良い機会となりました。健康寿命の重視がうたわれる中での「ころばぬ先の健康体操」講座も、皆で体を動かし楽しく、地域交流としての園児と一緒の「昔遊び」「おでんパーティー」。集落ではなかなか子どもの声が耳にできないこの頃、元気になれる時間でした。今年度最後に楽しませていただいた「お笑い劇場」。山形より出向いての愛好会の皆さんによる落語鑑賞会。笑顔がいっぱいの会場となりました。私自身、元気に出かけられる自分でいつまでいられるのか。卒業のない和合大学院「悠遊塾」を塾生の皆さんと共に少しでも多く楽しみたいものです。

◆「和合大学院“悠遊塾”」に参加した動機は？



◆ 内容はいかがでしたか？



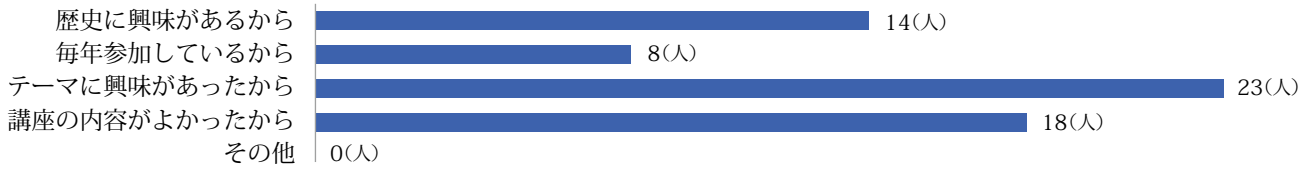
■ 和合歴史民俗塾

和合歴史民俗塾には、その前身である町民大学『歴史民俗学部』の時の平成28年度から受講しており、令和元年度が４回目の受講です。和合歴史民俗塾は講義があり、現地研修があり、中には講義と現地研修をセットで学ぶことができる内容のものもあり、私の生涯学習として重要な位置を占めています。令和元年度は能代市にある国登録有形文化財・旧料亭金勇の現地研修があり、建物についてガイドから説明を受けました。酒田の本間家の旧本邸にも匹敵するような建物で、感銘を受けながら眺めてきました。また、現地研修の時の食事は、普段行けない特色のある会場に設定されており、現地研修と同様堪能させてもらっています。

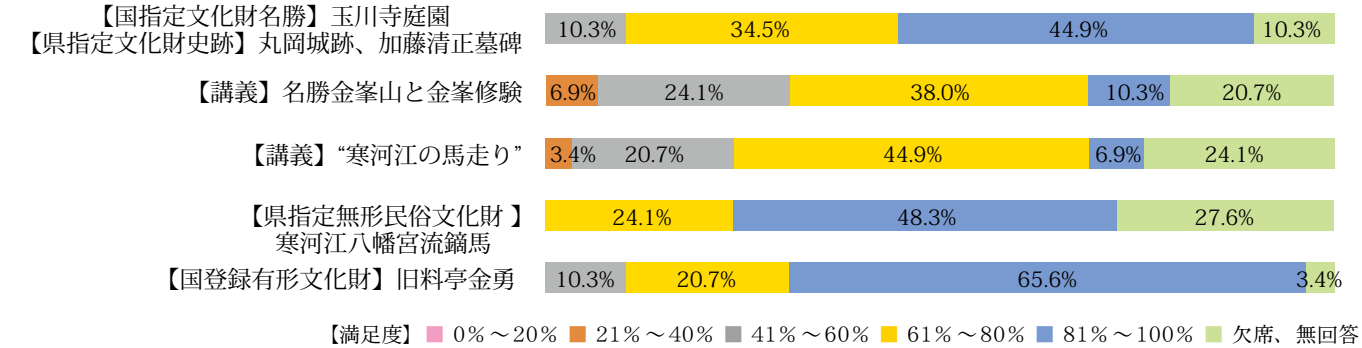
河村 勉 さん（表町）

令和２年度の和合歴史民俗塾では、どんな研修を取り上げてもらえるのか今から楽しみです。

◆「和合歴史民俗塾」に参加した動機は？



◆ 内容はいかがでしたか？



和合の里 INFORMATION

皆さんの功績に大きな拍手!!　～受賞 おめでとうございます～

令和元年度 庄内町総合表彰式

１月８日(水)に響ホールで開催され、それぞれの分野で功績のあった方々へ表彰状、感謝状が贈られました。

【表彰状】
長谷部 富夫（古関）前庄内町統計調査員
齋藤　真希（南野）スポーツ振興(陸上)
長谷部 達也（古関）スポーツ振興(重量挙げ)

【感謝状】
齋藤　守（小出新田）前情報公開･個人情報保護審査会委員
冨樫　洋一（本小野方）前本小野方行政区長
石山　喜一（中野）前中野行政区長
奥山　登志（古関）前社会教育推進員､和合の里づくり推進員

令和元年度 庄内町体育協会表彰式

１月12日(日)に響ホールで開催され、今年度は多くの方が様々な競技で活躍し受賞されました。今後の更なる活躍が期待されます。

【勲功賞】
陸　上　齋藤　真希（南野）東京女子体育大学１年

【栄光賞】
陸上(個人)　源田　修良（連枝）余中３年
齋藤　泰希（南野）余中３年
齋藤　早希（南野）庄内 ＡＣ
陸上(団体)　余目中学校　岩城　湘(南野) ３年
源田　修良(連枝) ３年
齋藤　泰希(南野) ３年
國井　琴心(返吉) ３年
斎藤　綾菜(沢新田) ３年
富樫　奈菜(小出新田) ２年
卓球(個人)　加藤　光咲(主殿新田) 四小６年
富樫　哲弥(前田野目) 庄内町余目卓球協会
卓球(団体)　余目卓球スポーツ少年団
加藤　光咲(主殿新田)四小６年
土田　結葉(廻館)四小６年
伊藤　優羽(西袋)四小５年
余目中学校　加藤　杏奈(主殿新田)２年
伊藤　遥夏(西袋)２年
齋藤　星空(吉方)２年
大滝 瀬莉葉(西袋)１年
剣　道　齋藤　真実(西袋) 余目剣友会
バスケットボール　髙橋 健太朗(返吉) 吹浦クラブ
柔　道　髙橋　晴人(連枝) 羽黒高２年
空手道　渡會　大翔(吉方) 四小５年
ソフトボール　齋藤　璃奈(連枝) 鶴岡東１年
ウエイトリフティング　長谷部 達也(古関) 中央大２年
水　泳　大倉　愛梨(前田野目) 余中２年
体　操　齋藤 ひかり(吉方) 四小４年
佐藤　華音(大真木)四小４年

【奨励賞】
陸　上　富樫　奈菜(小出新田)余中２年
卓球(個人)　横山　和子(沢新田)ウイングス庄内
卓球(団体)　余目中学校
髙橋　悠(本小野方)３年
土田　萌葉(廻館)３年
渡部　優利(吉方)３年
加藤　杏奈(主殿新田)２年
伊藤　遥夏(西袋)２年
バレーボール　余目中学校　工藤　奈緒(古関)２年
剣道(個人)　齋藤　真子(西袋)余目剣友会
剣道(団体)　余目中学校
加藤　心愛(主殿新田)１年
バスケットボール　佐藤　夢衣(南野)鶴岡信用金庫
ソフトテニス　乙坂　柚稀(小出新田)四小６年
斎藤　大馳(沢新田)四小６年
ソフトボール(団体)
庄内町女子ソフトボールスポーツ少年団
門脇　南(連枝)四小６年
体　操　梅木　果乃(廻館)四小２年

編集後記

早くも道端に“ばんけ”を見つけました。春ですね～。さて今年の冬は、温暖化の影響で日本は暖冬、オーストラリアでは大規模な森林火災のニュースが大きく取り上げられました。未来の子どもたちのために、四季折々の自然豊かな環境を残したいものです。

3/19（木）公民館、資料館 床、窓清掃

2020.3.1 発行
編集発行　和合の里を創る会　TEL0234-44-2162　FAX0234-44-2169　E-mail koumin-4@bz04.plala.or.jp　印刷　富士印刷株式会社